

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	比較居住文化小委員会	主 査 名：清水郁郎 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会(住宅計画運営委員会)	委員長名：布野修司 主 査 名：高田光雄
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>グローバリゼーション等、近年の居住文化を取り巻く状況を踏まえ、フィールドワークによる居住文化の研究とその統合を下記の要領で推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に根ざした計画手法の変容に関する比較研究(各年度)。 2. フィールドワークを建築教育に活用するためのマニュアル作成(2008、2009年度)。 3. フィールドワークを広く応用する方法の検討(2010、2011年度)。 4. 上記目的に沿ったフォーラム(拡大研究小委員会)の開催(各年度)。 5. 海外の研究者を含む研究者間のネットワークづくり(各年度)。 	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>足立崇(大阪産業大学)井上えり子(京都女子大学)上北恭史(筑波大学)内海佐和子(昭和女子大学)岡田知子(西日本工業大学)角本邦久(関東職業能力開発大学校)栗原伸治(日本大学)清水郁郎(大同工業大学)田上健一(九州大学)月館敏栄(八戸工業大学)丁志映(千葉大)橋本憲一郎(東京大学生産技術研究所)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>フィールドワークマニュアルWG：フィールドワークマニュアル作成において、企画立案、出版社との折衝、編集補助等を担う。</p> <p>情報発信WG：WEB上で、当小委員会の活動や研究成果についての情報発信を担う。</p>	
2008 年度予算	195,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：da.gwc.gakushuin.ac.jp/hc/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 拡大研究小委員会・フィールドワークマニュアルの作成に向けた各個研究の動向 1 参加者数 8 名 2. 拡大研究小委員会・フィールドワークマニュアルの作成に向けた各個研究の動向 2 参加者数 6 名 3. 拡大研究小委員会・フィールドワークマニュアルの作成に向けた各個研究の動向 3 参加者数 12 名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 拡大研究小委員会の開催を通じ、研究事例の整理と集積、研究者相互の交流が達成された。 2. フィールドワーク・マニュアル刊行に向けて、企画書作成、出版社との折衝を行った。 3. 小委員会の研究蓄積を WEB 上で公にするための WG を設置した。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>1. フィールドワーク・マニュアル刊行について、当初計画より若干の作業の遅れがあった。 2. 大会研究集会 (PD) について企画を立てたが、申請が遅れて、次年度以降へ持ち越しとなってしまった。</p>

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。